

平成 25 年度

国・宮城県全体のトピックス

4 月

仙台・宮城デスティネーションキャンペーン開幕
平成 25 年 4 月 1 日から 6 月 30 日まで開催しました。



1 日：「みやぎ鎮魂の日を定める条例」施行

3 月 11 日を東北地方太平洋沖地震の犠牲者に対する追悼の意を表し、記憶を風化させることなく後世に伝え、復興を誓う日として、みやぎ鎮魂の日を定める条例が施行されました。

12 日：復興推進計画（応急仮設建築物活用事業）の認定

県と 10 市町が共同申請した復興推進計画（10 市町、65 件）が内閣総理大臣から認定され、各市町の応急仮設建築物が 2 年 3 ヶ月を超え、特定行政庁が 1 年以内ごとに認めることにより、計画期間まで存続できることになりました。

19 日：復興整備協議会を開催

石巻市の復興整備協議会において、防災集団移転促進事業等に関する協議を行いました。

23 日：県が申請した「石巻市桃浦地区水産業復興特区」の認定

今回の認定により、地元漁業者主体の法人である「桃浦かき生産者合同会社」が、復興特別区域法及び漁業法により、第一順位として特定区域漁業の免許を取得できることとなりました。

土木部のトピックス

1 日：平成 25 年度自治法派遣職員へ辞令伝達式 **1**

29 都道県から土木部に派遣された 112 名の自治法派遣職員へ 4 月 1 日付けで村井知事から辞令が交付され、遠藤土木部長から伝達されました。

1 日：県内初の災害公営住宅入居開始

1 日：仙台港多賀城地区緩衝緑地一部再開園

10 日：ハワイアン航空 CEO の知事表敬訪問 **2**

ハワイアン航空による「仙台－ホノルル線」が、平成 25 年 6 月 26 日から新規就航されることに伴い、知事を表敬訪問されました。ハワイアン航空 CEO（最高経営責任者）のマーク・ダンカリー氏は、「東日本大震災には衝撃を受けました。復興の一助となるようアメリカ本土とハワイの人々に宮城・東北の魅力を伝えたい。」と述べました。

12 日：塩竈市北浜地区の土地区画整理事業認可書交付式 **3**

仙塩地区で初の被災市街地復興土地区画整理事業が事業認可され、事業認可書が、宮城県遠藤土木部長から佐藤塩竈市長へ、直接手渡されました。交付式には、北浜地区まちづくり懇談会の地域代表者様にも御臨席いただきました。

18 日：大規模災害時における橋梁の応急対策業務の応援に関する協定締結

大規模災害発生時の橋梁に関する被災状況調査等について、日本橋梁建設協会並びにプレストレスト・コンクリート建設業協会東北支部と協定を締結しました。

25 日：「災害に強いまちづくり宮城モデル」担当者勉強会を開催

各市町の復興まちづくり担当者を対象に、「災害に強いまちづくり宮城モデル」の概要説明、各市町の取組事例の紹介、事業推進上の課題解決に向けた意見交換などを行いました。



1 自治法派遣職員へ辞令伝達式の様子



2 ハワイアン航空 CEO の知事表敬訪問の様子



3 塩竈市北浜地区の土地区画整理事業の完成イメージ

平成25年度

国・宮城県全体のトピックス

5月

12日：安倍首相の県内視察 4

安倍首相が宮城県を訪れ、女川町の区画整理事業の現場やトレーラーハウス宿泊村、東松島市の航空自衛隊松島基地、防災集団移転促進事業造成工事の現場、仙台市の農地復旧の状況などを視察しました。

14日：ふれあいグリーンキャンペーン緑木の寄贈式 5

仙台トヨペット株式会社が社会貢献活動として、緑豊かな安らぎある街づくりを目指すため、これまでで5,770本の緑化木が宮城県に寄贈されています。今回、寄贈された緑化木（アオダモ75本、ヤマザクラ75本の合計150本）は、女川町で開催する「みやぎパットの森」植樹祭において、植樹されます。

15日：ふるさと切手「地方自治法60周年記念シリーズ・宮城県」の発行 6

地方自治法60周年を記念し、宮城県をモチーフとしたふるさと記念切手が発行されました。宮城県を代表する5つの風景「伊達政宗と慶長遣欧使節船」「栗駒山」「鳴子峡」「仙台七夕まつり」「光のページェント」がデザインされています。



4 安倍首相の県内視察



5 緑木の寄贈式寄贈式



6 記念切手発行



7 弘川ダム竣工式



8 第3回復興道路会議



9 女川湾防波堤災害復旧工事ケーソン据付開始

土木部のトピックス

18日：弘川ダム竣工式を開催 7

伊里前川総合開発事業の一環として平成4年度に着手した「弘川ダム」が4月26日に試験湛水を終了したことから、竣工式典を開催しました。

20日：第3回復興道路会議～宮城県～ 8

東日本大震災からの復興に向けた復興道路等の早期完成を図るため、関係機関が連携して課題解決することを目的として開催されました。各関係機関が進捗状況を説明し、用地取得や遺跡調査等整備に関する課題について、意見交換を行いました。

21日：貞山運河再生・復興ビジョンを策定

仙台湾沿岸地域の復興において、目標とする姿やそれを実現するための仕組みについて示し、復興のシンボルと誇れる運河群として再構築を図るため「貞山運河再生・復興ビジョン」を策定・公表しました。

22日：女川港湾口防波堤復旧工事着工 9

女川湾口防波堤災害復旧工事において、ケーソン据付が開始され本格な復旧に着手しました。

23日：第8回 岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議 開催 10

平成24年度から定期的に行っている被災三県の土木部長会議の第8回目。今回は宮城県で開催し、復旧・復興事業に係る諸課題について議論し、情報を共有しました。

25日：津波防災シンポジウムを開催 11

「津波防災シンポジウム～地域で育てる津波防災文化～」を開催しました。

群馬大学広域首都圏防災研究センター長・群馬大学理工学研究院教授 片田敏孝氏からは、「3.11 東日本大震災の教訓～海と共存する文化を地域に築く～」と題し講演いただきました。

28日：宮城県建築物等地震対策推進協議会の開催

県内の建築物等の総合的な地震対策の推進を図る協議会の総会を開催しました。



10 第8回 岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議



11 津波防災シンポジウムを開催

国・宮城県全体のトピックス

6月

17日：「大規模災害復興法」「改正災害対策基本法」成立

大規模災害に対する国や自治体の復旧・復興対応を強化する改正災害対策基本法と大規模災害復興法が成立しました。国や県が被災地からの要請を待たずに物資供給などの復旧活動を代行できるようになりました。

19日：「民活空港運営法」成立

空港の運営を民間委託できるようにする民活空港運営法が成立しました。着陸料の設定や空港ビル運営など空港全体の経営を民間企業が担えるようになりました。

21日：サントリーホールディングス株式会社からの寄付金目録贈呈式

サントリーホールディングス株式会社から宮城県に「漁業振興に係る漁船取得等支援のための寄付金（追加分10億円、累計30億円）」の目録が寄贈されました。東日本大震災で甚大な被害を受けた沿岸地域の基幹産業である漁業復興のため、一昨年、昨年に、10億円ずつ寄付金を贈呈されていたところですが、依然として沿岸地域の厳しい状況が続いていることを憂慮し、追加支援としてさらに10億円の寄付金が寄贈されました。

26日：ハワイアン航空「仙台－ホノルル線」新規就航

ホノルル線の新規就航により、仙台空港の国際線は7路線、海外の8都市と結ばれることになりました。



12 任期付職員へ辞令伝達式

土木部のトピックス

3日：任期付職員へ辞令伝達式 12

復旧・復興事業を速やかに実施することによる一時的な業務量の増加に伴い、職員の不足が見込まれるため、任期の定めのある土木部任期付職員へ辞令が伝達されました。

12日：総合防災訓練土木部防災訓練を実施 13

今後も起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」（6月12日）に合わせ県として総合防災訓練を実施しました。

土木部訓練参加者：1,176名

14日：岩手・宮城内陸地震発生から5年

平成20年6月14日「岩手・宮城内陸地震」の発生から5年が経過しました。駒の湯温泉付近の耕英東地区砂防激特事業が実施中となっています。

18日：外貿定期コンテナ航路（韓国航路）の中国延伸

外貿定期コンテナ航路は、中国／韓国航路が3航路・週3便、北米西岸航路が1航路・週1便の計4航路・週4便となり、東北・宮城に立地する荷主企業にとっては、輸出入の選択肢が拡がり、物流コストの削減、国際競争力の強化に資するものと期待されます。

21日：仙台南部道路引継式を開催 14

宮城県道路公社が管理する仙台南部道路については、仙台都市圏高速環状ネットワークの一元管理による、均一な料金体系の実現、ETC割引による料金サービスなど、利便性の向上のため、平成25年7月1日をもって東日本高速道路株式会社へ移管されました。

24日：単品スライド条項の運用拡充

生コンクリート類等についても、単品スライドの対象資材として適用を拡充した。

29日：宮城県水防協議会を開催 15

関係行政機関、水防団体、学識経験者の審議により、今年度の宮城県水防計画が承認されました。



13 総合防災訓練土木部防災訓練の様子



14 仙台南部道路引継式



15 宮城県水防協議会

平成25年度

国・宮城県全体のトピックス

7月

11日：防災専門教育アドバイザーキック
オフミーティングを開催 16

東北大学災害科学国際研究所の平川所長をはじめ、出席したアドバイザーの方々と多賀城高等学校防災系学科設置に向けた意見交換を行いました。アドバイザーからは、東日本大震災を踏まえた宮城県らしい防災教育の推進に向けた期待や助言などがありました。

29日：安倍首相の県内視察 17

安倍首相が宮城県を訪れ、石巻市の災害公営住宅、包括ケアセンター、南三陸町の仮設商店街、公立南三陸診療所などを視察しました。

安倍首相が本県を視察されるのは、総理就任後4回目です。

安倍首相は「今までの厳しい状況から、一歩ずつ復興に向けて歩みが始まっていると感じた。しっかりと国として支援していく」と述べ、引き続き復興施策に全力を注ぐ考えを示しました。

31日：県内初の応急仮設住宅団地の解体
工事了（七ヶ浜町）

応急仮設住宅の再編が行われ、応急仮設住宅の解体工事が完了しました。



16 防災専門教育アドバイザー
キックオフミーティング



17 安倍首相の県内視察



18 仙台港区県営中野1号上屋



19 仙台空港600万人・5万トン実現
サポーター会議キックオフミーティング



20 宮城県建設工事表彰式・
事故防止対策推進大会



21 鹿折地区・南気仙沼地区復興
土地区画整理事業着工式

土木部のトピックス

5日：仙台港区県営中野1号上屋が竣工 18

仙台港区の港湾施設である中野1号上屋は、震災で甚大な被害を受けましたが、近隣に移転新築され、供用を開始しました。

9日：平成25年度春季地方ブロック土木
部長等会議

東北・北海道ブロックの土木部等部長が山形県の会場に集まり、喫緊の課題等について情報共有を図りました。

16日：「仙台空港600万人・5万トン
実現サポーター会議」キックオフミー
ティングを開催 19

国の空港経営改革についての講演のほか、ピーチアビエーション(株)の井上CEO、株式会社ジェーティーピーの加藤部長、日本通運株式会社の田島部長、知事によるパネルディスカッションを開催し、それぞれの立場から空港等の活性化に向けた活発な意見が交わされました。

18日：宮城県建設工事表彰式・事故防止対策
推進大会を開催 20

宮城県発注の建設工事の優良施工者及び安全管理に対する取組が優良だった現場代理人を対象に表彰式が行われました。

25日：南三陸町志津川東地区の津波防災拠
点市街地形成施設 安全祈願祭28日：気仙沼市鹿折・南気仙沼地区被災市街
地復興土地区画整理事業着工 21

気仙沼市とUR都市機構との共催による鹿折(ししおり)地区及び南気仙沼地区の復興土地区画整理事業着工式が行われました。

29日：仙台塩釜港管理・運営協議会・利用
促進連絡会議

県・地元自治体、港湾利用者など地域が一丸となって、新たな仙台塩釜港の利用促進に取組んで行くため協議会及び連絡会議を開催しました。

31日：大衡仙台線 小野工区開通式を開催 22

平成7年度より整備を進めてきた小野工区の、未供用区間1.3kmが開通しました。今回の開通で大和町と仙台市内を結ぶ南北軸が強化されました。



22 大衡仙台線小野工区開通式

平成 25 年度

国・宮城県全体のトピックス

8月

2日：石巻市開成地区に「包括ケアセンター」が開設

長期化する仮設生活においても尊厳を持って暮らせることを目的として医療、介護、福祉等の課題を包括的にサポートする包括ケアセンターが開設しました。

23日：東松島市に県内初の大規模太陽光発電所（メガソーラー）が完成

沿岸被災地で県内初の大規模太陽光発電所、奥松島「絆」ソーラーパークが完成しました。年間発電電力量は、一般家庭の約600世帯分に相当します。

30日：仮設住宅入居期間を4年間に延長

災害公営住宅等の恒久住宅の整備や自宅再建等にお時間を要する状況を踏まえ、既に供与対象の被災世帯のない七ヶ宿町、川崎町及び色麻町の3町を除く県内32市町村を対象として、供与期間を現在の3年間に加えてさらに1年間延長することを国と協議していたところ、平成25年8月30日付で承認が得られました。

31日：第11回港湾感謝祭開催(石巻港区)

砕氷艦「しらせ」

東日本大震災により中止されていた「港湾感謝祭」が3年ぶりに開催され、海上自衛隊の砕氷艦「しらせ」が一般公開されました。



23 奥松島「絆」ソーラーパーク



24 砕氷艦「しらせ」



8月19日山梨県にて

25 自治法派遣職員の継続要請及び震災からの現状報告



26 ハイスクールサミット in 東北開催



27 表敬訪問の様子



28 安全祈願祭

土木部のトピックス

7日：新坂元駅周辺地区の津波防災拠点市街地形成施設 安全祈願祭

19日：自治法派遣職員の継続要請及び震災からの現状報告を実施（～9月6日）

当県土木部、農林水産部の幹部職員が、現在派遣をいただいている都道県を訪問し、これまでの応援に対する御礼と、平成26年度以降の継続派遣要請を実施しました。合わせて、震災からの復興に関する報告会を開催し、多くの方に参加いただきました。

21日：仙台塩釜港仙台区中央公園・湊浜緑地ネーミングライツ契約締結

住友スリーエム株式会社と仙台区にある中央公園・湊浜緑地のネーミングライツの契約を締結しました。

24日：ハイスクールサミット in 東北開催

全国21道県から68名の高校生が集まり、東日本大震災からの復興等を踏まえ、「元気な未来」をメインテーマとしてフォーラムを開催しました。

26日：ミス・アース・グアム 三浦副知事・遠藤土木部長表敬訪問

グアム政府観光局日本代表が三浦副知事及び遠藤土木部長を表敬訪問しました。ミス・アース・グアムのサラ・エリザベス・フィラッシュさん達は、グアムの観光PR及びユナイテッド航空により運航されている「仙台-グアム線」の利用促進のために来県しました。

26日：被災建築物応急危険度判定全国連絡訓練の実施

南海トラフ巨大地震を想定した全国連絡訓練が実施されました。

29日：栗原地域事務所管内災害復旧完了

地方道古川佐沼線の透川橋災害復旧工事が完了し、栗原地域事務所管内における東日本大震災に伴う復旧事業が全て完了しました。

31日：花洲山BP2号トンネル工事安全祈願祭

国道108号における花洲山2号トンネル工事開始に伴い、安全祈願祭が行われました。2号トンネルは全長1,194mで4号トンネルに次いで2番目の長さとなっています。

平成25年度

9月

国・宮城県全体のトピックス

日：水産業復興特区を活用した新たな漁業がスタート

3日：いちご団地完成（亶理町，山元町）

亶理山元地域において、いちご産地復興のため復興交付金を活用して整備していた、いちご団地7箇所と選果場が完成しました。9月に作付けし、選果場では11月6日に初出荷しました。**29**

10日：株式会社コバヤシとの立地協定式 **30**

宮城県及び大和町は、株式会社コバヤシと立地協定を締結しました。株式会社コバヤシは、国内8箇所目となる工場を大和町に建設することになりました。

13日：復興推進計画（応急仮設建築物活用事業）の変更認定

復興推進計画に応急仮設建築物を10件追加し、必要な字句を修正する変更について、内閣総理大臣から認定されました。（10市町，75件）

20日：2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催決定

利府町にあるグランディ21がサッカー会場の候補になりました。

26日：駐日タイ王国特命全権大使の知事表敬訪問 **31**

「仙台－バンコク線」が平成25年12月4日から新規就航することに伴い、宮城の観光をタイ王国内でPRするため、駐日タイ王国特命全権大使が同国のメディアとともに来県し、知事を表敬訪問しました。

土木部のトピックス

6日：仙台三本木線混内山工区全面供用 **32**

大崎圏域と仙台圏域を結ぶ重要な路線がより安全に通行できるようになりました。

8日：県内各下水道浄化センターでふれあい感謝祭を開催 **33**

県内各地の流域下水道の各浄化センターで「下水道ふれあい祭り」が開催され、キャラクターショーや震災からの復旧過程の紹介、下水道にふれあう各種イベントで賑わいました。

（参加者総数：3,917人）

10日：大型客船「ばしふいっくびいなす」入港

石巻港区への「ばしふいっくびいなす」の寄港は2年連続で、乗客は石巻市などを巡るオプションツアーに参加し、夕方に最終目的地の横浜港に向け出港しました。

19日：大型客船「飛鳥II」入港（仙台港区）

27日：慶長使節船ミュージアム 本復旧完了 **34**

被災したドック棟の大規模な復旧工事を終え、平成26年11月3日、約2年8ヶ月ぶりに開館しました。冬の風物詩として定着していた、復元船「サン・ファン・パウティスタ号」のライトアップも復活しました。

30日：災害査定（一次）（～10月4日）

7月の豪雨などにより被災した公共土木施設について査定を実施し、県管理分について、29件、358,551千円の査定決定額を受けました。



29 土耕栽培から高設ベンチ方式へ



30 立地協定式



31 知事表敬訪問



32 仙台三本木線混内山工区全面供用



33 仙塩浄化センター



34 「サン・ファン・パウティスタ号」ライトアップ

10 月

1 日：「復興祈念公園基本構想検討調査有識者委員会」初会合 35

宮城県及び石巻市による復興祈念公園の整備が計画されている宮城県石巻市南浜地区を対象に、宮城県及び石巻市と連携して復興祈念公園の基本構想等を検討するため、学識経験者等で構成する有識者委員会が設置され、第 1 回目の委員会が開催されました。

7 日：第 2 回復興加速化会議を開催

国土交通省、復興庁、被災三県等、建設業界団体が出席し、施工確保対策について意見を交換しました。

7 日：「復興まちづくり事業カルテ」を追加・更新

「復興まちづくり事業カルテ」について、沿岸市町全ての面整備事業を網羅するよう対象地区を拡大するとともに、既作成地区も内容の更新・充実を図りました。

9 日：建設発生土利用に係る自治体間協定締結 36

東日本大震災の復興事業で発生した建設発生土の有効活用を目的とし、塩竈市、七ヶ浜町、仙台土木事務所、仙台塩釜港湾事務所の 4 団体間で協定を締結しました。

10 日：国道 398 号 宮前工区が開通 37

宮前工区は地域に密着した生活道路であり、通学路に指定されているものの、歩道が設置されていないことや、山崎橋は重交通に対応しておらず、線形も悪いことから、交通事故が多発していました。今回、延長 850m 区間をバイパス化し、歩道・車道幅員の確保、道路線形の改良、橋梁架換を行い道路機能の拡充を図りました。

13 日：仙台アクセス鉄道のラッピング列車運行（～1 月 31 日） 38

ますます利便性が向上する仙台空港を広く PR し、仙台空港を利用した旅客需要を促すため、仙台空港からの就航都市をイメージしてラッピングした仙台空港アクセス鉄道車両を運行しました。

16 日：災害時における民間賃貸住宅の提供等に関する協定を締結

災害発生時において、住宅を滅失した被災者が早期に住宅への入居を可能とするため、民間賃貸住宅の空き室情報の提供や入居までの契約事務等に関する基本的事項について、（公社）宮城県宅地建物取引業協会、（公社）全日本不動産協会宮城県本部及び（公社）全国賃貸住宅経営者協会連合会と協定を締結しました。

21 日：災害査定（2 次）（～25 日）

7 月の豪雨により被災した公共土木施設について査定を実施し、県管理分について、26 件、161,704 千円の査定決定額を受けました。

28 日：下増田地区防災集団移転促進事業起工 39

北釜地区、広浦地区、杉ヶ袋北地区、杉ヶ袋南地区の 4 地区から、美田園駅北周辺（下増田字前田、飯塚地内）へ集団移転するための造成工事の起工式が行われました。

29 日：県内 35 市町村と共同申請した「宮城県復興推進計画（公営住宅関係）」の認定 40

東日本大震災により住宅を失った被災者の災害公営住宅の入居についての収入の基準の緩和及び譲渡処分要件の緩和を目的とした復興推進計画（公営住宅関係）が国に認定されました。



35 復興祈念公園基本構想検討調査有識者委員会 初会合



36 協定調印式の様子



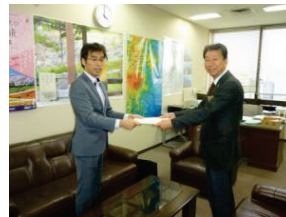
37 国道 398 号宮前工区開通



38 仙台アクセス鉄道のラッピング列車



39 下増田地区防災集団移転促進事業 起工



40 「宮城県復興推進計画（公営住宅関係）」の認定

平成 25 年度

11 月

国・宮城県全体のトピックス

13日：アジア国立公園会議が開催 41

(~17日)

アジア地域の保護地域関係者が一同に会する初めての会議として「第1回アジア国立公園会議」が開催されました。アジアの国々を中心とする40の国と地域から、自然保護地域に関わる政府関係者、研究者、国際機関、NGOなど約800人が参加しました。

24日：楽天イーグルス日本一優勝パレード 42

東北楽天イーグルスの優勝パレードが東二番丁通り約1.5kmの区間で行われました。当日は21万人を超える人々が沿道に集まり、選手と一緒に日本一をお祝いしました。

25日：キャロライン・ケネディ駐日米国大使の村井知事表敬訪問 43

新しく米国の駐日大使に就任したばかりのキャロライン・ケネディ大使が、初の地方公務として宮城県を訪問しました。村井知事は、米軍の「トモダチ作戦」などで国を挙げて復旧・復興支援をしていることなどに対し感謝の意を示しました。

土木部のトピックス

1日：長沼ダムの試験湛水を開始 44

ダム本体工事等が完成したことから、ダムへ水を試験的に貯めてダム本体や放流設備、貯水池周辺などに問題がないかを確認するための「試験湛水」を開始しました。

8日：塩竈市港町地区の津波防災拠点市街地形成施設事業認可書交付式 45

塩竈市港町地区において、一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業が認可されました。

12日：耕英東砂防激特事業完成式 46

岩手宮城内陸地震により甚大な被害に見舞われた当地区の砂防えん堤等の砂防施設群が完成しました。

17日：仙石線多賀城地区連続立体交差事業整備完了記念式典開催 47

多賀城駅付近約1.8km区間の鉄道の高架化、駅舎部を含む施設整備が完了しました。

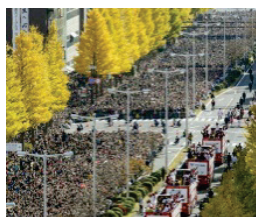
18日：パナマックス級穀物船（石巻港区）

「ZEN-NOH GRAIN MAGNOLIA」 入港

東日本大震災で被災した日和埠頭7号岸壁復旧を記念し、パナマックス級の大型船が飼料用とうもろこしを積載し石巻港区に初入港しました。



41 アジア国立公園会議



42 楽天イーグルス日本一優勝パレード



43 駐日米国大使の村井知事表敬訪問



44 長沼ダムの試験湛水



45 塩竈市港町地区津波防災拠点の整備イメージ



46 耕英東砂防激特事業完成式



47 仙石線多賀城地区連続立体交差事業整備完了記念式典

平成 25 年度

国・宮城県全体のトピックス

12 月

13 日：平成 25 年度水防功労者表彰

平成 25 年 7 月 26 日からの低気圧の影響による豪雨に際し 4 日間延べ 419 名が出勤して水防活動を行い浸水被害の軽減に多大な貢献をした「栗原市消防団」が国土交通大臣から表彰されました。

27 日：羽生結弦選手 ソチオリンピック冬季

大会日本代表決定に伴う知事表敬訪問

フィギュアスケート男子シングル代表としてソチオリンピック冬季大会に出場する仙台市出身の羽生結弦選手が、知事を表敬訪問しました。

27 日：安倍首相が宮城県内を視察

安倍首相が石巻市の県漁協共同かき処理場、塩竈市伊保石地区の災害公営住宅等を視察しました。安倍首相の視察は、総理就任後 5 回目です。

安倍首相は「現場主義でさらに復興を加速させていきたい」と述べるとともに、被災した市町村が運営する国民健康保険について、国の財政支援を拡充する方針を示しました。



48 知事表敬訪問の様子



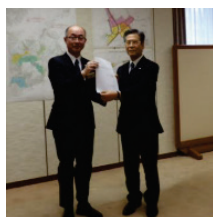
49 安倍首相が宮城県内を視察



50 就航記念してセレモニー



51 宅地引渡し式



52 土地区画整理事業認可書交付式



53 仙台北部道路全線開通 富谷 IC 開通式

土木部のトピックス

2 日：災害査定（3 次）（～ 6 日）

台風 18 号、台風 26 号により被災した公共土木施設について査定を実施し、県管理分について、4 件、56,971 千円の査定決定額を受けました。

4 日：タイ国際航空「仙台-バンコク線」定期便就航

タイ国際航空が東北初となる「仙台-バンコク線」を就航しました。当日は就航を記念してセレモニーが開催されました。

4 日：コンテナ専用船「さがみ」就航・初入港

国内最大の内航コンテナ船「さがみ」が仙台塩釜港仙台北港区に初入港しました。

19 日：みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期区間事業説明会

20 日：県営住宅の災害復旧工事が全て完了

全壊被害のあった、県営名取手倉田第二住宅 1 号棟（30 戸）の建替工事が完了しました。これで、県営住宅災害復旧工事の全てが完了しました。

20 日：「3. 11 伝承・減災プロジェクト」伝承サポーター募集開始

3. 11 伝承・減災プロジェクトに賛同し、伝承・減災を後押しして頂ける「伝承サポーター」の募集を開始しました。

21 日：岩沼市

「玉浦西地区第 1 期宅地引渡し式」

岩沼市玉浦西地区における防災集団移転促進事業の第 1 期 35 区画の宅地引渡し式が開催されました。

21 日：南三陸町 戸倉地区藤浜団地竣工式

南三陸町戸倉地区藤浜団地における防災集団移転促進事業の竣工式が開催されました。

21 日：七ヶ浜町菖蒲田浜、花洲浜、代ヶ崎浜 A、代ヶ崎浜 B 地区の被災市街地復興土地区画整理事業認可書交付式

被災市街地復興土地区画整理事業 4 地区が事業認可され、事業認可書が、宮城県遠藤土木部長から渡邊七ヶ浜町長へ、直接手渡されました。

22 日：仙台北部道路全線開通 富谷 IC 開通式

仙台北部道路が国道 4 号に直結し、仙台都市圏の東西交通軸が強化されました。

平成25年度

国・宮城県全体のトピックス

1月

18日：災害廃棄物県内焼却処理の終了

東日本大震災により発生した「災害廃棄物」の焼却処理が終了し、石巻港区雲雀野地区に設置された焼却炉の「火納め式」が行われました。これにより、災害廃棄物の県内焼却処理が全て完了しました。



54 安全祈願祭



55 大河原土木事務所管内災害復旧完了



56 多重防御かさ上げ道路整備事業起工



57 県庁舎・議会庁舎災害復旧完了



58 大島架橋事業（仮称）ニノ浜1号トンネル貫通式開催



59 常磐自動車道 舗装プラント火入れ式



60 知水講座

土木部のトピックス

15日：北上運河河川災害復旧工事に関する安全祈願祭 54

北上運河河川災害復旧工事の安全祈願祭を行いました。安全祈願祭には、施工者のほか、久保田県土木部次長ら約50名の関係者が出席しました。

16日：大河原土木事務所管内災害復旧完了 55

東日本大震災で被災した大河原土木事務所管内、207箇所の道路、河川、橋梁の災害復旧工事が、全て完了しました。

18日：多重防御かさ上げ道路整備事業が着工（岩沼市） 56

津波対策としての多重防御計画の嵩上げ道路整備事業の起工式が岩沼市押分地区で行われました。

20日：第4期流域下水道指定管理者を指定

指定管理者選定委員会で選定された候補者が、議会の議決を経て指定されました。これで、平成26年度から5年間の各流域下水道の指定管理者が決定しました。

20日：県庁舎・議会庁舎 災害復旧完了 57

県本庁舎と議会庁舎と災害復旧工事が終了しました。

24日：大島架橋事業（仮称）ニノ浜1号トンネル貫通式開催 58

平成25年10月から掘削を開始していた（仮称）ニノ浜1号トンネル工事が順調に進捗し、貫通式を開催しました。

24日：東松島市柳の目北地区災害公営住宅整備事業着手

東松島市が農地を転用して85戸の災害公営住宅を建築する事業の起工式が行われました。

25日：常磐自動車道 舗装プラント火入れ式

常磐道専用の舗装プラントの建設が完了し、今後の工事の安全を祈願するため火入れ式が開催されました。 59

30日：亘理町防災集団移転促進事業「上塚団地」が完成

亘理町吉田地区で造成を進めていた上塚団地が完成し、亘理町初となる宅地引き渡しの契約締結式が行われました。

30日：「～桜並木に願いをかける貞山運河の復興～」を開催 60

貞山運河に沿って、官民連携で桜を植樹する取組を始めることから、貞山運河と桜をテーマに県民と沿岸地域の復興について考える機会として「第16代佐野藤右衛門」氏を講師として招き、「知水講座」を開催しました。

平成 25 年度

国・宮城県全体のトピックス

2月

4日：東京タイガ株式会社との立地協定式 61

宮城県及び塩竈市は、餃子等を製造・販売している東京タイガ株式会社と立地協定を締結しました。

13日：「東北4県・東日本大震災復興フォーラム」

東北被災4県により、首都圏にお住まいの方々を対象として復興フォーラムを開催しました。

被災地の復興の現状や課題を総括した上で、今後に向けた展望を考えていくとともに、震災の風化防止と復興に対する全国からの幅広い支援の継続を訴えました。

15日：ソチオリンピック 羽生結弦選手が金メダル

仙台市出身のフィギュアスケート男子シングル羽生結弦選手が日本人男子としては初の金メダルを獲得しました。



61 立地協定式



62 塩竈市伊保石地区（第1期）災害公営住宅



63 鳴瀬川水系河川整備学識者懇談会



64 宮城県土木部発足80周年記念フォーラム

土木部のトピックス

1日：第3回復興加速化会議を開催

国土交通省、復興庁、被災3県等、建設業界団体が出席し、復興係数の導入が表明されました。

1日：塩竈市伊保石地区（第1期）災害公営住宅入居開始 62

木造1階、2階建て全31戸が完成し、入居式が開催されました。

6日：鳴瀬川水系河川整備学識者懇談会開催 63

河川の規模や特性、地域の風土、歴史及び地域との関わりなどの地域の実情に応じ、学識経験者から意見をもらいながら河川整備を進めるために国土交通省と合同で、懇談会を開催しました。

7日：宮城野原広域防災拠点構想の大規模事業評価答申

東日本大震災の教訓から、仙台貨物ターミナルがある土地に、広域防災拠点として整備することについて、妥当との評価を得ました。

7日：宮城県土木部発足80周年記念フォーラム開催 64

土木部発足から80年のあゆみを振り返りながら、東日本大震災からの復興を通じて、新しい時代を切り開くことをテーマに記念フォーラムを開催しました。東北大学今村文彦氏、一般財団法人国土技術研究センター 谷口博昭氏に講演をいただきました。

8日：石巻市新蛇田（B・C-1・C-2街区）地区災害公営住宅着工 65

14日：仙台国際貿易港首都圏セミナー開催

仙台塩釜港の優位性や自動車関連産業等を中心とした集積状況など、企業向けのセミナーを開催し、約400名のお客様にお越しいただきました。

15日：低気圧による豪雪対応 66

8日に続き15日の豪雪で、宮城県内各地の道路で通行止めが発生しました。記録的な豪雪だったため除雪に約1週間を要しました。



65 石巻市新蛇田地区災害公営住宅完成イメージ



66 除雪車による豪雪対応

平成25年度

国・宮城県全体のトピックス

3月

11日：県内各地で東日本大震災三周年追悼式を開催 67

東松島慰霊祭には大震災により亡くなられた方々の御遺族や村井知事など1,000人以上が参列しました。

また、県庁や合同庁舎に献花台と記帳所が設置され、多くの方が犠牲者に鎮魂の祈りをささげました。



67 東松島市慰霊祭の様子



68 北上川・鳴瀬川水系内陸部災害復旧事業完成式



69 山元町新山下駅周辺地区(第二期)災害公営住宅



70 仙台湾南部海岸 名取海岸災害復旧事業完成式



71 桜植樹祭



72 石巻東部浄化センターの水処理施設

土木部のトピックス

9日：北上川・鳴瀬川水系内陸部災害復旧事業完成式 68

宮城県の治水、利水において重要な河川である北上川と鳴瀬川水系の内陸部災害復旧事業が完成したことから、完成式典が開催されました。

10日：山元町新山下駅周辺地区(第二期)災害公営住宅(25戸)完成 6915日：仙台湾南部海岸 名取海岸災害復旧事業完成式 70

仙台湾南部海岸において、東日本大震災により甚大な被害を受けた名取海岸約4kmの堤防復旧工事が完成したことから、完成式典が開催されました。

21日：桜植樹祭を開催 71

「貞山運河再生・復興ビジョン」に基づく取組の先駆けとして、小林製薬株式会社との共催により、岩沼海浜緑地公園・南ブロック内に60本の桜を植樹しました。

24日：東松島市鳴瀬給食センター跡地地区災害公営住宅(21戸)完成

25日：駅前大通線(亘理町)開通

亘理駅西口駅前広場から国道6号に至る路線(全体延長1,125m)が開通しました。

駅利用者や通行車両等の利便性や安全性が向上するとともに、市街地の混雑緩和など、生活環境の改善が図られます。

26日：流域下水道災害復旧事業が全て完了 72

石巻東部浄化センターの水処理施設2系列の災害復旧工事が完成しました。これにより宮城県の流域下水道施設の災害復旧が全て完了しました。

29日：涌谷津山線 下屋浦工区供用開始

登米市豊里町中心市街地のJR気仙沼線アンダーボックス付近は、道路線形が悪く狭隘な道路でしたが跨線橋を含む900m区間の道路改良工事を実施し、安全で円滑な通行が可能になりました。

30日：中国国際航空「仙台－上海(経由)北京線」が運航を再開

平成24年10月より運休となっていた中国国際航空「仙台－上海(経由)北京線」が運航を再開しました。当日は仙台空港において運航再開記念のセレモニーが開催され、搭乗客代表者への記念品贈呈などが行われました。

平成 26 年度

国・宮城県全体のトピックス

4 月

仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン 2014 開幕

平成 26 年 4 月 1 日から 6 月 30 日まで、「笑顔咲くたび 伊達な旅」をキャッチフレーズに、より多くの観光客の方々に仙台・宮城が持つ魅力に触れていただけるよう、様々な施設やイベント情報等を積極的に発信しました。

1 日：任期付職員と新規採用職員の辞令交付式

復旧・復興業務に携わる任期付職員の辞令交付式が、県庁 1 階みやぎ広報室で行われました。最年長が 68 歳、最年少が 41 歳で、復興事業で職員不足が顕著になっている土木や建築、用地補償事務などの業務を、県の機関や被災市町で行うこととなっています。また、同日、新規採用職員の辞令交付式も県庁 2 階講堂で行われ、平成 26 年度は 135 名が採用されました。

1 日：辞令伝達式を開催 1

新規採用職員 35 名、自治法派遣職員 64 名及び任期付職員 6 名が土木部に配属となり、部長による辞令伝達が執り行われました。

1 日：スカイマーク「仙台-神戸線」新規就航 2

スカイマーク株式会社が「仙台-神戸線」を 1 日 2 往復で就航、出発初便の搭乗客に対して歓迎のお見送りを実施しました。今回の就航により西日本への利便性が向上されました。

14 日：自治法派遣職員研修を開催 (～16 日)

自治法派遣職員 (92 名) を対象として、宮城県の被災状況、復興状況等の現状から、工事積算・監督・検査、宮城県での実務に関する研修を開催しました。

14 日：三陸沿岸道路 南三陸道路 1 号トンネル貫通

国土交通省が整備を進めている三陸道のうち、南三陸道路 1 号トンネルが貫通しました。

土木部のトピックス

18 日：仙台塩釜港 外貿定期コンテナ航路 増便 3

仙台港区と韓国釜山港と釜山新港をダイレクトに結ぶ航路が増便され、韓国航路が強化されました。

25 日：仙台港国際ビジネスサポートセンター 災害復旧工事了 4

港を賑やかにするための活動をビジネス・文化の両面から支援することを目的とした施設であるサポーターセンターの津波による災害の復旧工事が完了し、供用を開始しました。

25 日：第 1 回復興まちづくり勉強会を開催 5

沿岸被災市町の復興まちづくり事業について、全国の自治体から新たに派遣された応援職員等を対象とした平成 26 年度第 1 回復興まちづくり事業勉強会を開催しました。

25 日：仙台空港民営化実施決定

国が「仙台空港特定運営事業等実施方針」を公表し、仙台空港での民営化運営法に基づく国管理空港初の民間運営委託実施を決定しました。

27 日：岩沼市 防災集団移転促進事業

「玉浦西地区第 3 期宅地引渡し式」 開催 6

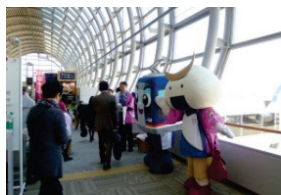
岩沼市玉浦西地区における防災集団移転促進事業の第 3 期 94 区画の宅地引渡し式が開催され、今回をもって全ての参加者への引渡しが完了しました。

30 日：東日本大震災による県管理道路の通行止めすべて解除

東日本大震災により全面通行止めとなっていた牡鹿半島公園線 (コバルトライン・大原跨道橋から山鳥規制ゲートまでの延長約 11 km) が、平成 26 年 4 月 30 日午後 1 時をもって全面通行止めを解除しました。これにより、震災による県管理道路の通行止めはすべてが解除されました。



1 辞令伝達式



2 出発初便の搭乗客への歓迎の様子



3 歓迎セレモニーの様子



4 仙台港国際ビジネスサポートセンター



5 復興まちづくり勉強会の様子



6 引渡し式

平成26年度

国・宮城県全体のトピックス

5月

20日：ふれあいグリーンキャンペーン緑化木の寄贈式 7

仙台トヨペット株式会社が社会貢献活動の一環として、緑豊かな安らぎある街づくりを目指すため、これまでに5,920本の緑化木が宮城県に寄贈されています。今回、寄贈された緑化木（アオダモ75本、ヤマザクラ75本の合計150本）は、大崎市岩出山で開催する「みやぎパットの森」植樹祭において、植樹されます。

21日：根本復興大臣 気仙沼市内視察

気仙沼駅前地区の災害公営住宅の建設予定地、南気仙沼地区の基盤整備状況、サメの街気仙沼構想推進協議会の取組を視察しました。

31日：千年希望の丘植樹祭2014開催 8

岩沼市「千年希望の丘」において、国内最大級の植樹祭が開催されました。当日は7,000名のボランティアが約7万本の植樹を行いました。



7 緑化木の寄贈式



8 千年希望の丘植樹祭の様子



9 第4回復興道路会議の様子



10 津波防災シンポジウム基調講演の様子



11 検討会の様子



12 長沼ダム竣工式

土木部のトピックス

16日：第4回復興道路会議～宮城県～ 9

復興道路等の早期完成を図るため、本会議では、開通見通しが公表された区間での開通に向けた課題の確認、今後、主要構造物にも本格的に着工していくことから事業進捗の見える化に向けた取組などについて、関係機関と意見交換を行いました。

17日：津波防災シンポジウムを開催 10

岩沼市民会館において「平成26年度津波防災シンポジウム 実践的防災のススメ～津波から生き残る～」を開催しました。基調講演として岩沼市長の井口経明氏より「千年先を見据えた岩沼のまちづくり」、東北大学災害科学国際研究所助教の佐藤翔輔氏より『災害と向き合う2つのキーワード：「多重防御」と「実践的防災」の意味とその実際』と題した御講演いただきました。

20日：三陸沿岸道路 南三陸道路「磯の沢地区トンネル工事安全祈願祭」を開催

国土交通省が整備を進めている南三陸道路で最後のトンネル工事となる磯の沢地区トンネル（2号及び3号トンネル）工事の着手に向け、安全祈願祭が開催されました。

22日：中島海岸及び津谷川・外尾川災害復旧事業に係る検討ワーキング、検討会及び全体会の開催（～平成27年1月） 11

災害復旧事業における景観や環境への配慮が必要なことから、地元住民が主体となる検討ワーキング及び専門的な評価を行う検討会を設置し、意見交換を実施するとともに、事業への反映に取組みました。

26日：遠刈田橋、秋山沢橋耐震補強工事完成

復興事業である橋梁耐震補強工事が、国道457号の遠刈田橋、秋山沢橋で完成しました。

31日：長沼ダム竣工式 12

昭和46年に実施計画調査を開始し平成25年度末の試験湛水によりダムの安全性を確認しました。関係する皆様の御理解と御協力により、調査開始から43年の歳月を経て、竣工を迎えることができました。

平成 26 年度

国・宮城県全体のトピックス

6月

12日：総合防災訓練を実施 13

今後起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」（6月12日）に合わせ総合防災訓練を実施しました。

2日：任期付職員辞令伝達式を開催

6月1日付けで採用となった任期付職員の辞令伝達式を開催しました。

3日：宮城県港湾復興大会

宮城県港湾協会による「港湾復興大会」が開催され、宮城県の港湾復興に関する決議が採択されました。

8日：国営みちのく杜の湖畔公園が全園開園 14

国営みちのく杜の湖畔公園は、東北唯一の国営公園として平成元年8月に南地区の一部（約62ha）を開園して以降、多くの方に親しまれてきました。この度「里山地区」（森と環境のゾーン）の整備（地域交流館「小野分校」、「森の学校」等）が完了したことから、33年間にわたる全ての事業が終了し、全園開園式が開催されました。

13日：新北上大橋災害復旧工事 安全祈願祭開催

津波により一部落橋した北上大橋は、仮設橋の供用により早期に通行を確保していました。今回、本復旧工事の着手にあたり、工事の安全と北上地域の日も早い復興を祈念し、安全祈願祭を開催しました。

土木部のトピックス

16日：五間堀川河川災害復旧工事 安全祈願祭開催

17日：土砂災害防止に関する講習会を開催 15

市町村職員を対象に、土砂災害防止に関する知識を深め、警戒避難体制の整備を促進するため、講習会を開催しました。平成26年度からパソコンを用いたハザードマップ作成支援システムの実技講習や、市町村間の意見交換会も実施しました。

19日：砂押川外河川災害復旧工事 安全祈願祭開催

19日：北上運河河川災害復旧工事 安全祈願祭開催

27日：塩釜亘理線下増田道路改良事業の一部供用開始

27日：仙台空港民営化関係公募開始

国が「仙台空港特定運営事業等募集要項」を公表。また、県が「仙台空港特定運営事業等の公募に係る参加資格確認要領」を公表し、運営権者の公募手続を開始しました。

28日：塩竈市浦戸地区災害公営住宅安全祈願祭・着工式開催 16

塩竈市浦戸諸島（野々島、桂島、寒風沢島、朴島）で災害公営住宅の安全祈願祭・着工式が開催されました。

29日：三陸沿岸道路（仮称）気仙沼湾横断橋着工式を開催

（仮称）気仙沼湾横断橋は三陸道を象徴する大規模な土木構造物であり、着工式が開催されました。



13 総合防災訓練の様子



14 全園開園式の様子



15 土砂災害防止に関する講習会の様子



16 安全祈願祭・着工式の様子

平成26年度

国・宮城県全体のトピックス

7月

28日：宮城県農業高等学校跡地におけるメガソーラー事業協定式 17

宮城県及び名取市は、日本アジアグループ株式会社、JAG 国際エナジー株式会社、国際航業株式会社と「県有地（宮城県農業高等学校跡地）におけるメガソーラー事業の実施に係る協定」を締結しました。本事業は、東日本大震災に伴い被災した宮城県農業高等学校跡地を事業者により約20年間貸し付け、発電出力約20メガワット（一般家庭約6,000世帯の年間電力使用量に相当）のメガソーラーを建設するものです。



17 事業協定式の様子



18 宮城県建設工事表彰式

19 生コン仮設プラント
(気仙沼市本吉地区)

20 むすび丸による歓迎の様子



21 第1回みやぎ復興住宅整備推進会議

土木部のトピックス

1日：復興まちづくり産業用地カルテを公表

被災市街地において産業誘導を予定する地区について、「復興まちづくり産業用地カルテ」を作成し、公表しました。復興事業で整備を行う「これから」の産業用地について、位置・規模、優遇助成制度や交通アクセス等の情報を掲載し、企業立地の検討材料として活用できるようにしました。

16日：宮城県建設工事表彰式・事故防止対策推進大会を開催 18

宮城県建設工事表彰式は、県が発注した工事のうち優良な工事を施工した施工業者及び安全管理に対する取組が優良であった現場代理人を表彰するもので、平成26年度は、95社、97名が受賞されました。

16日：生コン仮設プラントからの出荷開始
(気仙沼市本吉地区・石巻牡鹿地区) 19

復旧・復興事業の本格化に伴う生コンクリートの需要増に対応するため民間事業者と県の協定に基づき設置した生コンクリートの仮設プラントから出荷が開始されました。

21日：三陸自動車道 南三陸道路4号トンネル貫通

国土交通省が整備を進めている三陸自動車道のうち、南三陸道路4号トンネルが貫通しました。

23日：名取市下増田地区災害公営住宅起工式を開催

名取市下増田地区の防災集団移転促進事業は、名取市として初の工事着手となり起工式が開催されました。

24日：地方法務局の体制強化に関する法務省への要望の実施

登記事務処理の長期化等による各種事業への影響が懸念されることから、事務官の増員等について要望を行いました。

29日：キャセイパシフィック航空香港チャーター便運航 20

キャセイパシフィック航空による香港チャーター便が就航しました。当日は、仙台・宮城観光PR担当課長「むすび丸」や仙台空港鉄道キャラクター「サツとくん」、奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊らにより、搭乗客の皆様にご歓迎のお出迎え行事を実施しました。

31日：第1回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催 21

住宅・まちづくりに関する情報を関係機関で共有し、全国のモデルとなる復興住宅整備を目指し、今年度第1回目となる会議を開催しました。

8月

自治法派遣職員の継続要請及び震災からの現状報告を実施

当県土木部、農林水産部の幹部職員が、現在派遣をいただいている都道県を訪問し、これまでの応援に対する御礼と、平成27年度以降の継続派遣要請を実施しました。合わせて、震災からの復興に関する報告会を開催し、多くの方に参加いただきました。

2日：南三陸町災害公営住宅整備事業名
足・入谷復興住宅竣工式典 開催 22

南三陸町名足地区及び入谷地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し竣工式が開催されました。

6日：国道108号花淵山バイパス2号トンネル貫通 23

国土交通省が直轄権限代行事業として整備を進める花淵山バイパスの2号トンネルが貫通しました。国道108号は、石巻市と秋田県由利本荘市を東西に結ぶ広域幹線道路であり、沿線の産業経済活動や観光振興など地域間の交流を支える重要な路線です。

※花淵山バイパス

国道108号の鳴子ダムの荒雄湖周辺区間は、道路幅員が狭く、道路形状も悪いことなどから、県では鳴子ダム西側に新たにバイパスを計画し、昭和63年度に「花淵山バイパス」を計画し事業に着手。しかし、複雑な地形や地質構造を有する厳しい条件の中で、長大トンネルや橋梁等の大規模構造物が連続する極めて高度な技術的知見が求められる工事であったため、平成21年度より「国直轄権限代行事業」として、国土交通省が整備を進めてきました。

9日：スリーエム仙台港パーク（仙台港区中央公園）供用再開 24

スリーエム仙台港パークは震災の影響で利用できない状態となっていたが、復旧工事が概ね完了し、約3年5ヶ月ぶりにほぼ全ての施設の供用を再開しました。

12日：復興まちづくりのパネル展示 25

被災された方々がより身近な場所で情報に接し、復興へのあゆみを実感できるよう、8月12日から当分の間、「イオンモール名取」店舗内で復興まちづくりに関するパネルを展示しました。

19日：貞山運河再生復興会議を開催 26

学識者や関係機関等から「貞山運河再生・復興ビジョン」に掲げる施策への取組内容に関する助言をいただくとともに、参加者の連携強化と調和の取れた復興を図ることを目的として、貞山運河再生復興会議を開始しました。

22日：志津川自然の家 災害復旧工事完了 27

津波による災害復旧工事が完了し、供用を開始しました。

27日：被災建築物応急危険度判定全国連絡訓練の実施

南海トラフ巨大地震を想定した全国連絡訓練が実施されました。

28日：石巻市 新門脇地区被災市街地復興土地区画整理事業が着工

石巻市内の津波による被災を受けた既成市街地では初となる新門脇地区被災市街地復興土地区画整理事業の安全祈願祭が現地で行われました。隣接する旧北上川には河川堤防、海側には防潮堤と高盛土道路を整備し、地区内には、一時避難所や日和山への避難道路も整備され、安全性が高められ、安全・安心・快適な市街地が形成されました。

31日：女川町出島で災害公営住宅が完成

女川町の離島の出島で、宮城県内被災地の離島部としては初めての災害公営住宅が完成し、入居者への鍵の引渡し式が行われました。



24 供用再開の式典



25 イオンモール名取店舗内でのパネルを展示



26 貞山運河再生復興会議



23 2号トンネル貫通式



22 竣工式の様子



27 志津川自然の家

平成26年度

国・宮城県全体のトピックス

9月

- 2日：文部科学省が東北地方への医学部設置の認可申請を可能とする1校として「東北医科薬科大学」の構想を選定
- 11日：長島復興副大臣が気仙沼市及び南三陸町を視察（～12日）
- 30日：災害廃棄物処理施設の解体撤去と用地の現状復旧並びに返地が終了

3日：みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進大会を開催 28

復旧・復興工事の本格化とともに増加した労働災害の防止及び意識高揚を図るため、ゼロ災運動推進大会を行いました。

3日：多賀城市新田地区・鶴ヶ谷地区災害公営住宅建設工事合同起工式 29

多賀城市では、整備する災害公営住宅のうち、新田地区のRC造集合住宅3棟48戸と、鶴ヶ谷地区のRC造4棟274戸が起工したことから起工式を開催しました。

3日：第12回 岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議を開催 30

被災三県の土木部長等が会場の岩手県に集合し、復旧・復興事業の進捗見通し、集中復興期間以降の財源確保と課題解決に向けた活動等について、情報共有を図りました。

3日：県民の森中央記念館 木質化等改修工事完了 31

内装のみならず、外装も木質化をおこないました。外装仕上げに木質材料を使用することにより、自然にマッチした外観となりました。震災により長期休館しておりましたが、供用を開始しました。

土木部のトピックス

9日：災害査定（2次）を実施（～12日） 32

7月の梅雨前線豪雨及び台風8号等により被災した県南地域の公共土木施設について査定を実施し、県管理分で20件308,491千円の査定決定を受けました。

10日：宮城県道路メンテナンス会議 橋梁点検現地研修会を開催 33

道路インフラの予防保全、老朽化対策の取組に対する体制強化を図るため、宮城県内の各道路管理者からなる「宮城県道路メンテナンス会議」を平成26年6月10日に設立し、今回は、国道4号名取大橋で橋梁点検現地研修会を開催し、道路定期点検における橋梁の近接目視や打音検査方法等を実践し、宮城県内の各道路管理者の知識向上を図り、道路定期点検に対する理解を深めました。

19日：水産技術総合センター海水ろ過設備竣工 34

震災により被災した水産技術総合センター海水ろ過設備は一部のみの復旧でしたが、今回、海水ろ過装置及び受水槽の復旧を行いました。

22日：宮城県土木部優良建設関連業務表彰式を開催

宮城県土木部発注の建設関連業務のうち、業務成績が特に優れた受注者及び管理技術者を対象に表彰式を行いました。

25日：（仮称）磯草3号トンネル貫通式 35

（仮称）磯草3号トンネル（乙姫1号トンネル）が貫通し、現地で貫通式を行いました。これにより、大島架橋事業の5つのトンネルすべてが貫通しました。

27日：第4回復興加速化会議を開催

国土交通省、復興庁、被災三県等、建設業界団体が出席し、東日本大震災の復旧・復興事業の施工確保対策等について意見を交換しました。「災害公営住宅工事確実実施プログラム」が示されました。



28 ゼロ災運動推進大会



29 合同起工式



30 第12回 岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議



31 県民の森中央記念館



32 災害査定の様子



33 橋梁点検現地研修会



34 水産技術総合センター海水ろ過設備



35 磯草3号トンネル貫通式

平成 26 年度

国・宮城県全体のトピックス

10 月

12 日：安倍首相が被災地を視察 36

安倍首相が、亶理町の長瀬小学校、山元町の農業生産法人、GRA、仙台市のサンピアスポーツクラブ仙台、南蒲生浄化センターなどを視察しました。安倍首相が、宮城県を視察するのは、総理就任後 7 回目です。安倍首相は「（県内の）先進的な取組を、モデルケースとして、全国に向けて広げていきたい。」と述べました。

13 日：竹下復興大臣が気仙沼市及び南三陸町を視察

18 日：「ソラ行け旅フェスタ 2014」を開催（～19 日） 37

仙台市内中心部商店街を会場に、仙台空港から出発する「旅」を紹介するトラベルフェスティバルが開催されました。世界各国や航空会社のブースや民族舞踊や民族音楽などステージイベントで大変な賑わいとなりました。

3 日：石巻港区大手ふ頭資材倉庫 竣工 38

津波により被災した資材倉庫が竣工し、供用を開始しました。船舶事故時等で必要となるオイルフェンス等を保管する倉庫です。

7 日：「宮城県復興住宅計画」を改定

震災からの時間の経過に伴い、新たに顕在化してきた諸課題を踏まえ、今後、一層の整備の加速化を図るとともに、被災者のニーズを反映した適切な住宅整備を着実にを行うため、災害公営住宅の全戸完成時期や整備戸数の及び年次戸数の見直しを主とした、計画の改定を行いました。

8 日：気仙沼市都市計画事業 魚町・南町地区被災市街地復興土地区画整理事業着工式

気仙沼市の中心市街地である魚町・南町地区の被災市街地復興土地区画整理事業の着工式が行われました。

土木部のトピックス

20 日：名取市関上地区 被災市街地復興土地区画整理事業 安全祈願祭・起工式

東日本大震災で壊滅的な津波被害を受けた関上地区で被災市街地復興土地区画整理事業の安全祈願祭・起工式が行われました。

20 日：多賀城市津波復興拠点整備事業安全祈願祭

多賀城市八幡地区に整備する、防災・減災拠点、産業復興支援（製品供給回復支援、付加価値提供）拠点及び地域経済・地域雇用牽引拠点となる津波復興拠点整備事業の安全祈願祭が行われました。

21 日：舞根トンネル貫通式

平成 26 年 5 月末に着工した、東舞根復興道路事業の舞根トンネルが貫通し、貫通式を開催しました。

貫通式には地元住民代表や気仙沼市、工事関係者など約 50 人が出席し、貫通を祝いました。

23 日：二ノ浜 1 号トンネル本体工事完成 39

平成 26 年 1 月に貫通し、その後、覆工等を施工していた（仮称）二ノ浜 1 号トンネル（浦島 1 号トンネル）が完成しました。

28 日：被災宅地危険度判定士講習会の開催

被災宅地危険度判定を実施する技術者を養成するため、県内の建築士等を対象に講習会を実施しました。

28 日：第 2 回復まちづくり情報交換会を開催（～29 日） 40

沿岸市町で復興まちづくり事業を担当する市町職員、県担当職員を対象とした第 2 回復まちづくり情報交換会を開催しました。復興庁宮城復興局等からの情報提供のほか、課題解決に向けたグループ討議を行いました。



36 安倍首相と亶理町長瀬小学校生徒



37 トラベルフェスティバルのステージイベントの様子



38 石巻港区大手ふ頭資材倉庫



39 二ノ浜 1 号トンネル



40 第 2 回復まちづくり情報交換会

平成26年度

11月

国・宮城県全体のトピックス

3日：日中韓三国地方政府防災交流会議への参加（～7日）

韓国仁川広域市において、日中韓地方政府における防災教訓の共有をテーマにした「日中韓三国地方政府防災交流会議」が開催され、本県は東日本大震災からの教訓を踏まえた「災害に強いまちづくり宮城モデルの構築」について、発表を行いました。

12日：“みやぎの復興現場”訪問事業を実施

東日本大震災からの復興に取り組んでいる企業や団体などを知事が訪問する「“みやぎの復興現場”訪問事業」を実施しました。この事業は、被災地の復興状況を確認するとともに、関係者と意見交換を行い、今後の復興施策に反映させることを目的としたものです。この日は、栗原地域において、「萩野酒造株式会社」、「栗原市若柳地区農産物直売所（くりでん出荷組合）」、「農事組合法人水鳥」を訪問し、震災後における復興の現状や課題などについて説明を受けました。また、「栗原の美味しい食をみんなに伝えたい」をテーマに、畜産農家や企業などの女性との意見交換を行いました。

3日：石巻市 防災集団移転促進事業

「新蛇田団地宅地供給開始式」開催

石巻市新蛇田団地における防災集団移転促進事業の宅地供給開始式が開催され、86区画が引渡されました。

4日：任期付職員辞令伝達式を開催

11月1日付けで採用となった任期付職員の辞令伝達式を開催しました。

4日：宮城県河川・海岸施設設計マニュアル（案）策定

国や被災県と協議しながら設計の具体的な考え方や照査方法などを統一・整理し、河川や海岸の津波対策施設等の復旧にあたって統一的な考えのもとで設計を行うため、宮城県河川・海岸施設等設計マニュアル（案）を策定しました。

土木部のトピックス

10日：仙台港背後地土地区画整理事業 竣工式

土地区画整理事業の完結の節目となる換地処分が10月末に行われたことを記念し、竣工式が開催されました。竣工式には、地元地権者の皆様や県選出国會議員、県議會議員、多賀城市長など事業に関わった約300名の方々に御出席いただきました。仙台港背後地は、東北唯一の国際拠点港湾である仙台塩釜港（仙台区）に隣接する地区であり東北地方の国際貿易・交流拠点として整備が進められてきました。宮城県と仙台市は共同で、東北地方の発展を先導するため仙台港背後地の計画的な都市基盤整備を行ってきました。41

13日：中田栗駒線 福岡工区開通 42

本事業は、登米市中田を起点として、三陸自動車道「登米インター」と東北自動車道「若柳金成インター」を結び、栗原市栗駒を終点とする中田栗駒線の福岡地区の道路改良事業です。平成14年度より整備を進めてきました中田栗駒線福岡工区のうち、未供用となっていた0.5km区間が供用開始しました。これにより、福岡工区が全線供用（延長3.2km）となりました。

15日：大島架橋本体工事 着工式 43

大島浪板線のうち、大島と本土を結ぶ大島架橋本体工事の現地施工に着工するにあたり、工事の安全と早期完成を祈念し、着工式が開催されました。

26日：被災三県用地確保対策連絡会議 開催

東日本大震災の被災三県（岩手、宮城、福島県）で、復旧・復興事業に係る用地取得の課題・対策について情報共有を図りました。

29日：三陸自動車道 気仙沼道路「（仮称）気仙沼第2号トンネル工事」安全祈願祭を開催

気仙沼道路で最初のトンネル工事となる「（仮称）気仙沼2号トンネル」着工する運びとなり、一日も早い復興と工事の安全を祈念し、安全祈願祭が執り行われました。



41 仙台港背後地土地区画整理事業竣工式



42 中田栗駒線 福岡工区開通式



43 大島架橋本体工事 着工式

国・宮城県全体のトピックス

12 月

14 日：仙石線陸前大塚・陸前小野間のレール締結式を開催

17 日：「復興支援用苗木贈呈式」の開催

平成 26 年 6 月 1 日に新潟県で開催された第 65 回全国植樹祭において、東日本大震災の復興支援として新潟県から東北 3 県（岩手県、宮城県、福島県）に苗木の贈呈（目録）が行われました。この苗木は、新潟県が東日本大震災により失われた海岸防災林等の再生を支援するため、松くい虫に抵抗性があるアカマツ（にいがた千年松）を育て、今回、そのうちの 1,000 本が宮城県に贈呈されたものです。贈呈式では、第 65 回全国植樹祭応援隊長のレルヒさんから宮城県観光 PR 担当課長のむすび丸が苗木の贈呈を受けました。

19 日：「まちなか再生計画」認定

国が女川町から申請があった「まちなか再生計画」について第 1 号として認定しました。まちなか再生計画の認定は、国として、被災地の商店街の再生を支援する制度を創設したものです。計画を認定することにより、商業施設等復興整備補助金の対象となります。



44 仙台塩釜港（松島港区）
浮さん橋



45 開通式



46 自家発電設備・無停電
電源装置



47 川内沢川放水路 通水安全祈願祭

土木部のトピックス

仙台空港民営化関係公募開始

県確認手続が完了し、6 者を国審査への候補者として認定しました。うち、4 グループが国審査に応募し、選定手続が本格化しました。

仙台塩釜港（松島港区）浮さん橋一部供用開始 44

津波により流失していた浮さん橋の復旧を行っていましたが、一部施設について供用を開始しました。浮さん橋は、大分県で製作され、松島まで曳航されてきました。

6 日：常磐自動車道 県内区間全線開通 45

NEXCO 東日本が整備を進めてきた常磐道のうち、「山元 IC～相馬 IC 間」及び「南相馬 IC～浪江 IC 間」が開通しました。これにより、県内全区間が開通となりました。

12 日：オフサイトセンター電気工事 竣工 46

オフサイトセンターは旧消防学校の建物を利用する形で移転し、自家発電設備・無停電電源装置の設置、コンセントの増設を行い、12 月に完成しました。竣工後の 1 月には原子力防災訓練が行われました。

15 日：災害査定（3 次）を実施（～19 日）

10 月の台風 19 号等により被災した公共土木施設について査定を実施し、県管理分で 40 件 540,189 千円の査定決定を受けました。

17 日：被災建築物応急危険度判定技術者講習会の開催

被災建築物応急危険度判定を実施する技術者を養成するため、県内の建築士等を対象に講習会を実施し、平成 26 年度は 4 回開催しました。

17 日：三陸自動車道 南三陸道路 新井田川橋連結式を開催

南三陸道路で一番最初の橋がつながりました。

22 日：川内沢川放水路 通水安全祈願祭を開催 47

平成 6 年 9 月 22 日の豪雨は、仙台空港で総雨量 515mm を観測するなど、名取・岩沼両市に甚大な浸水被害をもたらしました。このため、川内沢川の総合的な治水安全度の向上を図ることを目的として、上流に川内沢ダムを、仙台東部道路下流では広浦まで放水路を整備する計画を立案し、平成 7 年から河川改修に着手しました。事業着手から約 20 年の歳月をかけ整備を進めてきた放水路が概成したことから、通水安全祈願祭を行いました。

22 日：青少年の森森林学習館 改修工事完了

老朽化等による改修工事（屋根・外壁・内装・建具の改修）を実施しました。震災により長期休館していましたが、供用を開始しました。

平成26年度

国・宮城県全体のトピックス

1月

19日：宮城マスター検定「1級合格者カード
交付式」を開催 48

当地検定「第4回宮城マスター検定1級試験」に合格された方々に、表彰状と合格者カードが交付されました。検定は平成26年11月に実施され、11歳から84歳の219人が挑戦。合格者は4人で、これまで最も厳しい合格率1.8パーセントの超難関を見事突破されました。交付式には、合格者4人のうち3人のほか、同検定推進会議会長の川島隆大教授や、これまでの1級試験合格者が出席。村井知事は「日本一難しい試験だと思う」と、合格者の栄誉をたたえました。平成19年度に始まった「宮城マスター検定」は、東日本大震災のため平成23年度から3年間休止しましたが、今年度から復活。1級試験合格者は今回の試験合格者を合わせて20人となりました。

23日：復興推進計画(応急仮設建築物活用事業)の変更認定

復興推進計画に応急仮設建築物を27件追加し、認定済みの2件の期間を延長する変更について、内閣総理大臣から認定されました。(10市町、102件)

28日：災害時の石油製品の備蓄に関する協
定書等の交換式を開催 49

「災害時の石油製品の備蓄に関する協定」及び「災害時における支援に関する協定」が締結され、協定書の交換式が行われました。式には、宮城県石油商業組合・宮城県石油商業協同組合の佐藤理事長をはじめ5人の役員と知事などが出席しました。これら二つの協定の締結により、県内に整備されている災害対応型中核給油所などに石油製品が備蓄されるほか、情報連絡員の派遣など災害時の支援内容が拡充されます。

48 1級合格者カード交付式49 災害時の石油製品の備蓄に関する協定書等の交換式50 仙台環境開発大倉ダム
左岸51 州崎地先海岸安全祈願祭

土木部のトピックス

仙台空港アクセス鉄道利用者数過去最高

平成26年1月～12月における仙台空港アクセス鉄道利用客数について、開業以来最高の329万9000人を記録しました。また、仙台空港の乗降客数は、震災以降最高の320万8000人を記録しました。

仙台塩釜港コンテナ貨物取扱量21万TEU突破
震災以降最高を記録

平成26年1月～12月における仙台塩釜港コンテナ貨物取扱量は、約21万3千TEUを記録しました。21万TEU台を記録するのは、仙台塩釜港においてコンテナ貨物の取扱いを始めてから、平成22年を含めても2度目であり、過去2番目の取扱量となりました。

13日：仙台環境開発大倉ダム左岸復旧工事
完成 50

長年の貯水位変動、強風波浪等により浸食が進み、貯水池へ影響を与える恐れがある左岸法面の復旧工事が完成しました。

15日：坂元川・戸花川 安全祈願祭を開催

東日本大震災により被災した坂元川・戸花川の災害復旧工事着手にあたり、施工会社5者の共催で安全祈願祭が行われました。

16日：防災集団移転促進事業の造成工事着
手等地区が100%に

1月9日に開催された復興整備協議会において、石巻市雄勝町中部伊勢畑地区と鮎川浜熊野地区の2地区が開発許可の同意を得て、16日の復興整備計画の公表により、県内の造成工事着手等地区が100%になりました。

22日：州崎地先海岸 安全祈願祭を開催 51

東日本大震災により被災した州崎地先海岸の災害復旧工事着手にあたり、安全祈願祭が行われました。

27日：仙台塩釜港管理・運営協議会を開催

県、地元自治体、港湾利用者など地域が丸となって、仙台塩釜港の利用促進に取組んでいくため、協議会を開催しました。

27日：平成26年度スマイルロードプログラム
功績者表彰(東部土木事務所登米地
域事務所)

長年にわたり道路の清掃や緑化などの美化活動に積極的に取組まれ、他の模範となる活動を継続されているスマイルサポーターに対し、知事感謝状の伝達を行いました。

31日：第5回復興加速化会議を開催

国土交通省、復興庁、被災三県等、建設業界団体が出席し、労働単価改定の2月に前倒しで実施することが表明されました。

平成 26 年度

国・宮城県全体のトピックス

2月

2日：東日本大震災における災害廃棄物処理シンポジウム開催 52

東日本大震災により発生した膨大な災害廃棄物（がれき）処理の経験を将来に活かすべく行ってきた検証の報告と今後の災害時における取組方法を考えるシンポジウムを開催しました。シンポジウムには、県内外の自治体や民間事業者など約200名の方が参加しました。

12日：「東北4県・東日本大震災復興フォーラム in 東京」開催

被災4県（青森県・岩手県・宮城県・福島県）と東京都共催で、震災の風化防止・風評払拭と継続的な支援を呼びかけるため、都内でフォーラムを開催しました。



52 東日本大震災における災害廃棄物処理シンポジウム



53 仙台国際貿易港首都圏セミナー



54 迫川河川整備意見交換会



55 門脇流留線（魚町）道路改築工事安全祈願祭



56 岩沼市玉浦西地区災害公営住宅



57 松島町磯崎華園地区災害公営住宅

土木部のトピックス

3日：～住宅・社会資本～再生・復興フォーラムを開催

阪神・淡路大震災からの復興を成し遂げた被災経験地の取組や教訓などを学ぶとともに、今後の持続可能な県土づくりに向け、中長期的な視点から社会資本整備の役割やあり方などについて、有識者から提言をいただくことを目的としフォーラムを開催しました。基調講演では、一般社団法人減災・復興支援機構の木村拓郎様、豊橋技術科学大学の西大隆様に御講演いただきました。

3日：石巻浄化センター水処理施設2系列覆蓋工事完成

まちづくり等で増加が予想される汚水流入に対応するため、平成22年度より石巻浄化センター水処理施設の増設に着手してきましたが、覆蓋工事を以てすべて完了しました。これにより、水処理量が増大し、被災地域の復興を推進するものとなります。

4日：仙台国際貿易港首都圏セミナーの開催 53

仙台塩釜港の優位性や自動車関連産業の集積状況など、企業向けセミナーをホテル椿山荘東京で開催し、約500名のお客様にお越しいただきました。

5日：第13回 岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議 開催

被災3県の土木部長等が会場の福島県に集合し、被災3県での合同要望や住宅再建・確保対策について、情報共有を図りました。

9日：迫川河川整備意見交換会を開催 54

河川の規模や特性、地域の風土、歴史及び地域との関わりなどの地域の実情に応じ、学識経験者から意見をもらいながら河川整備を進めるために意見交換会を開催しました。（11月10日第1回意見交換会を開催）

12日：門脇流留線（魚町）道路改築工事安全祈願祭を開催 55

海岸堤と合わせて多重防護の役割を担う高盛り土道路の整備により、災害に強いまちづくりを目指すもので、石巻市内では初めての高盛り土道路に着工しました。

12日：岩沼市玉浦西地区災害公営住宅 完成 56

18日：塩竈市港町一丁目・海岸通地区避難デッキ整備工事 安全祈願祭を開催

20日：石巻市黄金浜地区災害公営住宅 完成

27日：松島町磯崎華園地区災害公営住宅 完成 57

平成26年度

国・宮城県全体のトピックス

3月

11日：東日本大震災から4年
（みやぎ鎮魂の日）

中坪・荷揚場地区の都市計画変更告示

仙台空港に隣接する当該地区の用途が、工業専用地域になりました。

2015 下水道防災シンポジウム in 仙台」に参加

「第3回国連防災世界会議」に合わせ、東日本大震災から得られた経験と教訓を広く世界に発信するとともに、国内外からの様々な御支援に感謝の意を伝えることを目的とした上記シンポジウムに主催者として参加し、仙塩浄化センターの施設見学会や下水道の復旧に関する展示を行いました。

1日：常磐自動車道 全線開通

NEXCO 東日本が整備を進めてきた常磐道のうち、「浪江IC～常磐富岡IC間」が開通しました。これにより、常磐道全区間が開通となりました。

6日：東京スカイツリー®における
復興PR実施（～12日）

東京スカイツリー5階展示スペースにて、「震災記憶の風化防止」「継続的支援の必要性」「これまでの支援に対する感謝」の意を込めて、被災市町と連携し、各種展示物等でPRを行いました。

16日：第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラムにおいてシンポジウムを開催

多重防御の考え方を津波防災に関する取組の先進事例として国内外に向けて情報発信を行うことを目的にシンポジウムを開催し、約250名の参加者が集まりました。

17日：桜植樹における技術支援に関する協定締結

貞山運河へ植樹される桜の適切な育成管理を行うため、一般社団法人宮城県造園建設業協会と桜植樹に関する技術の協定を締結しました。

土木部のトピックス

21日：JR石巻線の全線開通&女川復興まちびらき

JR石巻線の全線運転が再開されました。また、当日は『おながわ復興まちびらき2015春』と題した記念式典が挙行され、「まちびらき」がなされました。式典には、竹下復興大臣をはじめとする来賓と一般来場者約2,300名が訪れ、抜群の晴天のもとお祝いムードに包まれました。

21日：桜植樹祭を開催

仙台港多賀城地区緩衝地において、「貞山運河再生・復興ビジョン」に基づく取組として、佐野藤右衛門氏に寄贈していただいた「京都祇園しだれ桜」を記念植樹したほか、記念碑の除幕を行いました。

26日：復興支援道路 みやぎ県北高速幹線道路着工式

平成23年度から事業を進めてきたⅡ期（中田工区）において、今年度から本格的な改良工事に着手することから、Ⅲ期、Ⅳ期を含めて復興支援道路「みやぎ県北高速幹線道路」の着工式を開催しました。

30日：仙台松島道路 全線4車線化開通

宮城県道路公社が整備を進めてきた仙台松島道路「松島北IC～鳴瀬奥松島IC間」が4車線化となりました。これにより、仙台松島道路全区間が4車線化となりました。



58 東京スカイツリー5階展示スペースの様子



59 第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラムにおいてシンポジウム



60 『おながわ復興まちびらき 2015春』記念式典



61 桜植樹祭



62 仙台松島道路 全線4車線化開通式